

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援事業所はげみ園		
○保護者評価実施期間	R6年 11月 7日		R6年 12月 27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	34	(回答者数) 24
○従業者評価実施期間	R6年 11月 7日		R6年 12月 27日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	R7年 1月 31日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用児たちが快適、且つ、その力をより伸ばしていけるような環境設定に注力している。	用途によって個々と集団のスペースを使い分ける等場所への配慮を行っている。また、個々に応じたスケジュールの設定等時間配分への配慮を行い、場所・時間の細やかな構造化を心がけている。	個々の特性に最適なスペースの使い方・過ごし方について今後も職員間で協議し、環境整備の向上に取り組んでいく。
2	親子通園のため、利用児の家での様子や保護者の困り事等をキャッチしやすい。成長を共感するとともに、発達状況を詳細に共有することができる。相談事にも即時応じることができる。	発達状況の把握を踏まえ、個々に合わせたプログラムを設定している。相談事には即時対応だけでなく、場合によっては個別に面談の時間を設けたり、電話での対応も行っている。	今後も、利用児に対する保護者との共通理解を深め、療育場面に活かしていく。保護者が相談しやすい関係性づくりに努め、相談内容を踏まえた適切な助言と支援を行っていく。
3	専門的支援における資質向上を目指している。	外部研修及び法人内研修の機会が設けられている。受講者はレポートを作成し回覧、報告会を行うなど、職員間でその学びが共有されるよう取り組んでいる。	全体の底上げを図るため、職員全員が定期的に研鑽研修に参加できるような体制を目指していく。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者会等保護者通しでの交流を主目的とする機会は設けられていない。	必要に応じて、個別で保護者同士が話し合う機会は設けているが、全体としては取り組めていない。	まずは保護者同士での交流を求めている保護者の人数やニーズの把握に努め、それを踏まえた、会の設定方法を考える必要がある。
2	非常災害の発生に備えた避難、救出その他必要な訓練が定期的には行われていない。	当施設全体での実施時に合わせて、当事業所も避難訓練等を行っているが、全利用児が参加できているわけではない。	可能な利用児に対しては、全体実施以外の場でも定期的に訓練等に参加できる仕組みを考える必要がある。
3	保護者から見て、職員数の不足を感じられている面がある。	利用定員10名に対して職員2名を配置するという規準は満たしているが、1対1での手厚い対応をするためには余裕をもった採用が必要であった。	次年度からは、職員が増える予定である。また、どんな配置体勢でも、利用児や保護者に安心して過ごしてもらえるよう、日頃から職員間での情報共有・連携を密に行い、適切な対応を心がけていく。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 児童発達支援事業所はげみ園

公表日 R7年 1月 31日

利用児童数 34

回収数 24

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	23	1	0	0		
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	14	7	2	1	・職員数が全然足りていない。 ・先生の人数がもう少し多かったらいいのかなと思います。	・療育の効果を考え、1対1で関わるとい う手厚い配置をしたのですが、今年度は 余裕を洩った配置ができませんでした。 なるべくご迷惑をかけないよう対応して いきます。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	21	2	0	0		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	23	1	0	0		
適切 な 支 援 の 提 供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	23	1	0	0	・一生懸命先生が工夫して対応してくれ ている。子どものフォローも上手で、対 応が丁寧です。	・特性に合わせた丁寧な対応を今後も心 がけていきます。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	21	1	0	2		
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	23	1	0	0		
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	21	1	0	2		
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	23	1	0	0		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	19	4	0	1		
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の子どもと活動する機会がありますか。	10	3	6	5		
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	24	0	0	0		
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	24	0	0	0		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	10	3	2	9		
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	23	0	0	0		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	23	1	0	0		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	24	0	0	0		
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	3	3	7	11		
	19 子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	22	2	0	0		

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	23	1	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	14	2	2	5		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	23	0	0	1		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	14	2	2	6		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	12	2	0	10		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	18	2	1	3		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	16	2	0	6		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	24	0	0	0		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	24	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・今が一番本人が安心して楽しく通所していると思います。 ・子どもはいつも楽しく通園し、お休みの日は次の通園が待ち遠しそうです。 	<ul style="list-style-type: none"> ・楽しく通ってもらえるような環境調整を今後も心がけていきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	22	2	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・職員数が減ったことが残念です。 ・就学のことなど、いつも色々相談させていただき、ありがとうございます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・次年度は、職員が増える予定です。 ・就学や日常生活での困りごとなど様々な相談に対応できるよう今後も取り組んでいきます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援事業所はげみ園				公表日	R7年 1月 31日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	0	・適切なスペースを確保している。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	2	3	・職員数が足りなくなった際、そのカバーをする職員をすぐに配置できるようにしている。 ・ほぼ1対1で対応できるように配置している。	・職員数の不足を感じる。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	0	・場所、時間の構造化を行い、こどもにわかりやすい環境を整備している。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	0	・必要なものしか出さない、不要なものはこどもたちの目につかないようにするなど徹底している。 ・活動の内容に応じた部屋やスペースを使うようにしている。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	0	・個々と集団のスペースを目的によって使い分けている。 ・用途に応じて部屋を変更できるように配慮している。 ・選択できるようにしている。		
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5	0	・一部の職員が参画し、職員に伝えるようにしている。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	・保護者向け評価表から、改善できることから取り組むようにしている。困難なこともある。	・保護者向け評価表から、改善に取り組んでいるが、困難なところもある。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	・上司との定期的な面接機会がある。 ・つなげている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	5		・外部評価の機会はない。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	1	・研修機会を確保している。 ・レポート回覧や報告会など、研修内容を周知する取り組みをしている。	・全員が均等には受講できていない。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	3	2	・令和6年度末に公表する予定にしている。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5	0	・作成している。 ・モニタリングの内容を反映し、保護者へも説明を丁寧に行っている。		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0	・会議を開催して検討している。		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0	・会議を行い、支援計画の内容を共有している。 ・計画を共有した上で、随時その進捗状況も確認している。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	1	・確認している。 ・ライフスキルトレーニングの導入を検討している。		

適切な支援の提供	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0	・具体的に設定している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	0	・行っている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	0	・基本的に毎週異なっており、同じパターンのプログラムであっても内容のレベルアップ等で工夫している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	5	0	・発達段階に応じて集団活動を行っている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	0	・連携して行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	0	・当日または翌日の朝の会で共有するようにしている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0	・行っている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0	・行っている。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0	・児童発達支援管理責任者が参加している。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	1	・必要が生じた場合には連携する体制をとっている。	・限られたこどものみになっているので、全体的に連携が取れたらよいと思う。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	1	・担当者会やサポートファイルで情報共有を行っている。 ・併行利用先で行事や困ったことがある時には、保護者と話をし、スケジュールを用意するなどしている。支援内容の情報共有は、こどもや園によって実施しているが、保護者を通じてすることが多い。	・限られたこどものみになっているので、全体的に連携が取れたらよいと思う。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	1	・必要に応じ、会議等に参加し情報共有を行っている。 ・サポートファイルに記述することで引継ぎを行っている。	・就学後の関係者との連携は希薄気味。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	2	3		・地域に発達支援センターがまだ設置されていない。
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	0	5		・交流の機会は設けられていない。	
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0	・親子通園のため、その都度直接伝えることができています。 ・利用時に、両方で情報共有を行っている。		

	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	1	・研修案内などを掲示・配布する機会を設けている。 ・日常生活での対応について利用時に話をしている。	
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0	・契約時に行っている。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0	・保護者のニーズを確認している。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5	0	・説明を行い同意を得て、サインをもらっている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0	・利用時に相談、助言を行っている。また、必要に応じて相談の機会を設けている ・個別に時間を設けたり、電話での相談に応じたりしている。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	3	・保護者会を開催しての保護者交流はないが、利用時に保護者同士の交流はある。	・個別に保護者同士話し合う機会を設けているが、全体では取り組めていない。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0	・即座に対応できる時には対応し、難しい場合にはなるべく早く相談の場を設定するようにしている。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	4	1	・園だよりを発行している。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0	・留意している。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0	・配慮している。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	5		・できていない。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	0	・実施している。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	0	・実施している。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5	0	・契約前に確認している。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3	2	・食事の提供はない。おやつについては、持参してもらったものを保護者見守りの元で提供している。 ・おやつに関しては、事前に保護者に聞き取りを行い、提供している。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	0	・安全に留意して支援している。	
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	2	3		・わかりやすく掲示する必要がある。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0	・朝の会にて、報告している。 ・検討している。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0	・研修の機会を確保している。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5	0	・姿勢保持用具の利用時には、計画に記載し、保護者の同意を得ている。		